

明治安田生命 震災に関するアンケート調査を実施

**東日本大震災で自然災害への不安が高まる！「地震」は過去最高に
家族との“絆”は強まる一方、震災時の連絡手段や集合場所は3人に2人が未定！
震災を機に生活行動に新たな変化？！「情報の大切さ」を再認識！**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、「防災の日（9月1日）」を前に、震災に関するアンケート調査を実施しましたので、ご報告します。

1. 自然災害に対する意識

- 東日本大震災を経験し、自然災害の不安が高まる！「地震」は過去最高の90%台に
- ほぼ全員が「将来の大地震発生」を予想！「東北」の約半数が「5年以内の発生」を懸念
 - ・ 45.0%の人が「東日本大震災を機」に、自然災害に対する不安や危機意識が高まる
 - ・ 地震大国・日本を再認識！不安な自然災害のトップは「地震」（90.9%）。「集中豪雨・土砂災害等」（52.7%）「落雷」（46.6%）が続き、今年は「津波」（24.4%）への不安が倍増
 - ・ 「東北」「関東」「甲信越・北陸」「東海」「近畿」「四国」は9割超が将来の大地震発生を予想

2. 震災への備え

- 「家族の安否」を最も心配！家族と「連絡手段・集合場所」を3人に2人が決めていない
- 「防災グッズの準備」が震災対策のトップ！しかし、第2位は「特に何もしていない」
- 大地震発生時の帰宅ルート「知っている」が85%に、震災を機に首都圏で確認が加速！
 - ・ やっぱり「家族の安否」が最も心配！震災後の携帯電話・メール不通で家族や友人の安否確認ができず、心配が募る？！「通信手段が遮断・連絡が取れない」に対する心配が増加！
 - ・ 家族と「震災を機に連絡手段・集合場所を決めた」は1割強。震災対策「特に何もしていない」は未だ3人に1人、地域格差が大きく「北海道」「中国」「九州・沖縄」の過半数が未対策
 - ・ 鉄道・道路交通網完全麻痺！大地震時の帰宅ルート確認は「東京」「千葉」「神奈川」で加速！帰宅ルートを知っている人のうち、「実際、徒歩で帰宅して確認したことがある」は33.5%
 - ・ 家族と自分の命を守る防災グッズ！平均費用は「9,606円」と昨年から2,300円増加。今回の震災で約85%の人が被災地への募金に協力！被災地への平均募金額は「8,800円」

3. 震災時の行動

- 震災を機に日常生活で「ニュースを見る機会が増えた」「省エネ・環境性能商品を意識」！
- 震災時の情報源トップは「ラジオ」！優先行動は「ラジオ・TVをつける」が第3位へ！
 - ・ 震災時に大活躍！地震発生時に持って逃げたいモノのトップは「お金」から「携帯電話」へ
 - ・ 震災時の情報源トップは「ラジオ」！男女とも20代の3人に1人は「ツイッター等のSNS」

東日本大震災により被災されたみなさま、またそのご家族の方々に、心よりお見舞い申し上げます。当社では、保険金・給付金の迅速なお支払いに向け、被災されたお客さまに対するご訪問活動を積極的に進めており、ひとりでも多くのお客さまに安心をお届けできるよう、全社を挙げて取り組んでおります。一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

対象者の属性

1. 調査対象

20～59歳の男性・女性

2. 調査地域

全国

3. 調査期間

2011年8月5日（金）～8月8日（月）

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,097人

6. 回答者の内訳

（単位：人）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	計
男性	139	132	130	148	549
女性	133	133	138	144	548
計	272	265	268	292	1,097

【もくじ】

1. 自然災害に対する意識

(1)自然災害に対する不安は？ (4ページ)

地震・集中豪雨など自然災害を不安に感じる人が過去最高の78.6%へ！

(2)自然災害に対する不安は？(居住地域別) (5ページ)

自然災害への不安感“西低東高”傾向！「東北」「関東」「甲信越・北陸」「東海」が8割を突破

(3)不安に感じる災害は？ (6ページ)

東日本大震災で不安が高まる！「地震」が不安、過去最高の90%台、「津波」は倍増、4人に1人！

(4)近い将来、大地震発生の可能性は？ (8ページ)

「将来、大地震が発生する」と予想する人は、ほぼ全員92.6%

「東北」は2人に1人が「5年以内」、3人に1人が「1年以内」と予想！

(5)あなたの住まいは大丈夫？ (9ページ)

家屋倒壊の不安は「築5年」が境界線？すでに「築5～10年未満」で55.5%が“不安”！

2. 震災への備え

(1)地震発生時に心配なことは？ (10ページ)

高まる“家族の絆”、“家族の安否”が最も心配！電話不通等で「連絡が取れない」が第4位へ

(2)家族との連絡手段や集合場所は決めていますか？ (11ページ)

家族との連絡手段や集合場所の確認が急務！「震災を機に決めた」は1割強、依然3人に2人が未定！

(3)具体的な震災対策は？ (13ページ)

第1位「防災グッズの準備」は、10ポイント以上増加し44.8%

3人に1人が「特に何もしていない」、地域間格差が顕著！

(4)帰宅ルートの認知度(全体・男女別) (14ページ)

帰宅ルート「知っている」は85.1%、「東京」「千葉」「神奈川」で震災を機に確認が加速！

(5)徒歩での帰宅経験 (15ページ)

帰宅ルートを知っている人のうち、「徒歩で確認したことがある」は33.5%

(6)防災グッズの中身と費用 (16ページ)

防災グッズの平均費用は「9,606円」昨年から2,300円増加

(7)被災地への募金金額 (17ページ)

約85%の人が募金に協力！被災地への募金平均金額は「8,800円」

3. 震災時の行動

(1)大地震時の優先行動と震災前後での生活行動の変化 (18ページ)

あらためて“情報の大切さ”を実感！震災発生時の優先行動は「ラジオやTVをつける」が大幅増、

震災前後で変化した生活行動は「ニュースを見る機会が増えた」が第1位

(2)震災時に持って逃げたいもの (19ページ)

お金よりも「携帯電話」？調査開始以来初のトップに！「携帯電話」が最多の82.5%

(3)震災時の情報源は？ (20ページ)

震災時の情報源は「ラジオ」がトップ！20代の3人に1人はツイッター等の「SNS」！

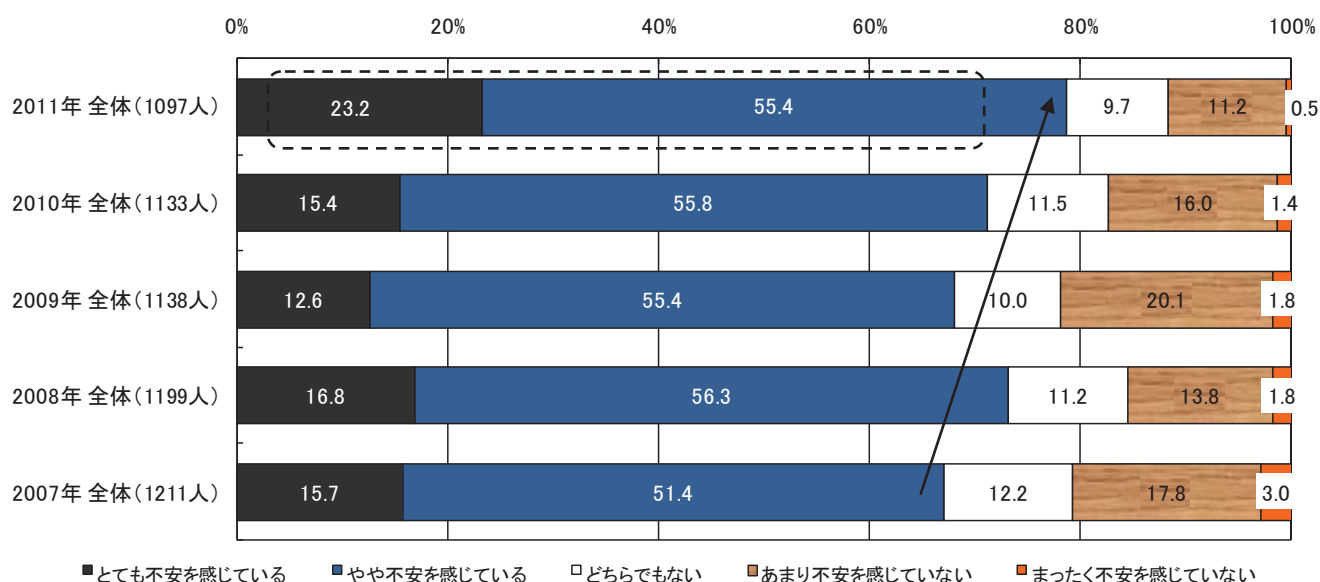
1. 自然災害に対する意識

(1) 自然災害に対する不安は？

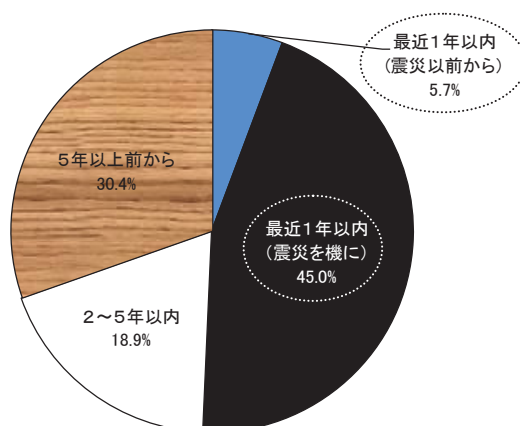
地震・集中豪雨など自然災害を不安に感じる人が過去最高の78.6%へ！

- ・ 防災の日を前に、自然災害に対する意識を聞いてみました。
- ・ 地震や集中豪雨等の自然災害に対して、不安（「とても不安」＋「やや不安」）を感じている人は昨年から7.4ポイント増加し、本調査開始以来最高の78.6%となりました。
- ・ そこで、不安と回答した人に、特に自然災害を意識し始めた時期について聞いてみたところ、「東日本大震災を機に」が最多の45.0%でした。
- ・ 東日本大震災により、国民の心は大きく揺さぶられ、自然災害への不安が顕在化したのではないのでしょうか。

Q. 自然災害に対して不安を感じていますか



Q. 自然災害に不安を感じ始めた時期は



1. 自然災害に対する意識

(2) 自然災害に対する不安は？（居住地域別）

自然災害への不安感は“西低東高”傾向！
「東北」「関東」「甲信越・北陸」「東海」が8割を突破

- ・ 続いて、自然災害に対する意識を居住地域別でしてみました。
- ・ 不安を感じている（「とても不安」＋「やや不安」）は「甲信越・北陸」（85.7％）、「東海」（85.3％）、「東北」（83.9％）、「関東」（82.6％）が全体平均を上回っています。
- ・ 特に「とても不安」をみると、東日本大震災を経験した「東北」（40.3％）が最も高く、続いて東海地震が心配されている「東海」（35.0％）の高さが目立ちます。

Q. 自然災害に対して不安を感じていますか

		回答者数	不安を感じている計	とても不安を感じている	やや不安を感じている	どちらでもない	あまり不安を感じていない	まったく不安を感じていない	不安を感じていない計
			%	%	%	%	%	%	%
2011年 全体		1097人	78.6	23.2	55.4	9.7	11.2	0.5	11.8
2011年 【居住地別】	北海道	81人	66.7	9.9	56.8	13.6	19.8	－	19.8
	東北	62人	83.9	40.3	43.5	11.3	4.8	－	4.8
	関東	350人	82.6	24.6	58.0	8.6	7.7	1.1	8.9
	甲信越・北陸	49人	85.7	26.5	59.2	2.0	12.2	－	12.2
	東海	143人	85.3	35.0	50.3	6.3	8.4	－	8.4
	近畿	232人	74.6	18.5	56.0	12.5	12.5	0.4	12.9
	中国	63人	74.6	15.9	58.7	7.9	15.9	1.6	17.5
	四国	31人	77.4	19.4	58.1	－	22.6	－	22.6
	九州・沖縄	86人	68.6	15.1	53.5	16.3	15.1	－	15.1
2010年 【居住地別】	北海道	74人	67.6	8.1	59.5	9.5	20.3	2.7	23.0
	東北	76人	75.0	21.1	53.9	9.2	14.5	1.3	15.8
	関東	371人	72.8	16.4	56.3	9.4	15.6	2.2	17.8
	甲信越・北陸	44人	70.5	18.2	52.3	13.6	13.6	2.3	15.9
	東海	156人	78.2	17.9	60.3	14.1	7.7	－	7.7
	近畿	238人	66.4	13.0	53.4	13.4	19.3	0.8	20.2
	中国	59人	62.7	20.3	42.4	15.3	20.3	1.7	22.0
	四国	22人	68.2	9.1	59.1	4.5	27.3	－	27.3
	九州・沖縄	93人	71.0	10.8	60.2	11.8	16.1	1.1	17.2
2011年 【性別】	男性	549人	74.1	18.6	55.6	11.1	14.2	0.5	14.8
	女性	548人	83.0	27.7	55.3	8.2	8.2	0.5	8.8

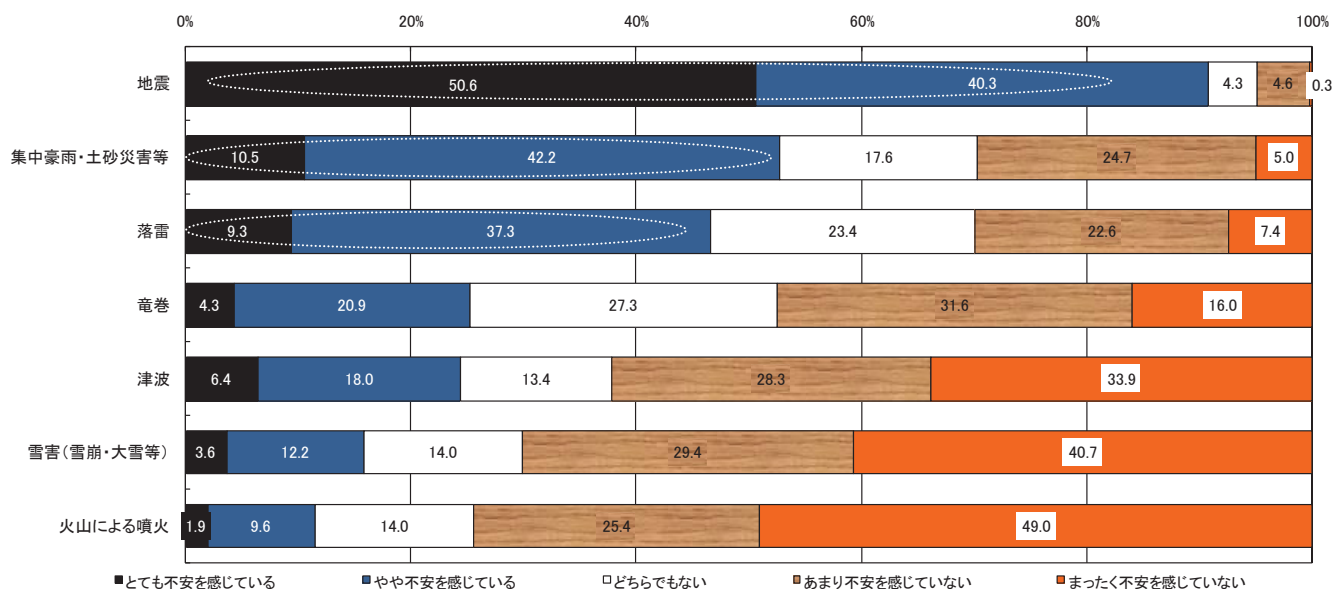
1. 自然災害に対する意識

(3) 不安に感じる災害は？

東日本大震災で不安が高まる！「地震」が不安、過去最高の90%台
「津波」は倍増、4人に1人！

- ・ 不安に感じる自然災害について、具体的に聞いてみました。
- ・ 今年も「地震」が第1位。不安を感じている（「とても不安」と「やや不安」）は、調査開始以来、過去最高の9割を突破し（90.9%）、2人に1人が「とても不安」（50.6%）と回答しています。東日本大震災により、“地震大国・日本”を再認識し、「地震」の不安をさらに高めたのではないのでしょうか。
- ・ 続いて、第2位は「集中豪雨・土砂災害等」（52.7%）、第3位が「落雷」（46.6%）。
- ・ また、今年は、「津波」（24.4%）の不安が倍増していることが特徴としてあげられます。

Q1. 不安に感じている自然災害は何ですか。（複数回答）



【地震】

	回答者数	不安を感じている計 (%)	とても不安を感じている (%)	やや不安を感じている (%)	どちらでもない (%)	あまり不安を感じていない (%)	まったく不安を感じていない (%)	不安を感じていない計 (%)
2011年	1097人	90.9	50.6	40.3	4.3	4.6	0.3	4.8
2010年	1133人	86.8	39.3	47.5	6.8	5.8	0.6	6.4
2009年	1138人	89.0	40.1	48.9	4.3	5.6	1.1	6.7
2008年	1199人	86.8	43.5	43.3	7.7	3.9	1.6	5.5
2007年	1211人	83.7	41.3	42.4	6.1	8.3	1.8	10.2

【津波】

	回答者数	不安を感じている計 (%)	とても不安を感じている (%)	やや不安を感じている (%)	どちらでもない (%)	あまり不安を感じていない (%)	まったく不安を感じていない (%)	不安を感じていない計 (%)
2011年	1097人	24.4	6.4	18.0	13.4	28.3	33.9	62.2
2010年	1133人	12.8	2.9	9.9	12.0	29.1	46.1	75.2
2009年	1138人	13.8	3.6	10.2	14.4	26.8	45.0	71.8
2008年	1199人	11.1	2.3	8.8	13.7	26.1	49.1	75.2
2007年	1211人	13.1	3.1	10.1	13.6	26.0	47.2	73.2

【居住地域別】

- ・ 不安を感じる自然災害（「とても不安」＋「やや不安」）を居住地域別にまとめました。
- ・ 最も心配な「地震」は、「東海」「甲信越・北陸」「関東」「東北」「近畿」「四国」では9割以上の人が不安を感じ、また「とても不安」は、「東海」（65.7%）、「東北」（64.5%）、「関東」（56.3%）で昨年から10ポイント以上の増加と不安がさらに高まっています。
- ・ 第2位の「集中豪雨・土砂災害等」は、2011年新潟・福島豪雨や2010年奄美豪雨、2009年中国・九州北部豪雨が発生した「甲信越・北陸」「九州・沖縄」「中国」は6割超。
- ・ 第5位の「津波」は、「四国」「九州・沖縄」「中国」「東海」「甲信越・北陸」の5地域で3割以上が不安に感じています。

【地震】

11年					10年					09年				
順位	不安計(997人)	%	とても不安(555人)	%	順位	不安計(983人)	%	とても不安(445人)	%	順位	不安計(1013人)	%	とても不安(456人)	%
1	東海	96.5	東海	65.7	1	東海	95.5	東北	48.7	1	甲信越・北陸	97.7	東北	51.5
2	甲信越・北陸	93.9	東北	64.5	2	四国	95.5	東海	47.4	2	東海	94.2	東海	45.0
3	関東	92.6	関東	56.3	3	関東	87.9	関東	43.7	3	近畿	91.1	関東	42.3
4	東北	91.9	甲信越・北陸	49.0	4	東北	86.8	甲信越・北陸	38.6	4	四国	90.3	甲信越・北陸	39.5
5	近畿	91.8	近畿	46.1	5	近畿	86.6	近畿	37.4	5	関東	89.4	近畿	39.3
6	四国	90.3	四国	45.2	6	甲信越・北陸	81.8	四国	31.8	6	九州・沖縄	86.8	四国	35.5
7	北海道	85.2	九州・沖縄	37.2	7	九州・沖縄	81.7	中国	28.8	7	東北	83.3	中国	34.5
8	中国	84.1	北海道	35.8	8	北海道	79.7	北海道	27.0	8	中国	81.8	九州・沖縄	26.5
9	九州・沖縄	80.2	中国	28.6	9	中国	74.6	九州・沖縄	23.7	9	北海道	75.0	北海道	23.1

【集中豪雨・土砂災害等】

※2010年以前の項目は「集中豪雨・大雨・洪水・土砂災害・台風」

11年					10年					09年				
順位	不安計(578人)	%	とても不安(115人)	%	順位	不安計(643人)	%	とても不安(146人)	%	順位	不安計(710人)	%	とても不安(164人)	%
1	甲信越・北陸	75.5	甲信越・北陸	22.4	1	甲信越・北陸	75.0	中国	25.4	1	甲信越・北陸	74.4	中国	25.5
2	九州・沖縄	64.0	中国	19.0	2	九州・沖縄	74.2	甲信越・北陸	20.5	2	中国	70.9	東海	22.5
3	中国	63.5	東北	16.1	3	中国	64.4	東海	14.1	3	九州・沖縄	70.6	甲信越・北陸	18.6
4	東海	58.0	四国	16.1	4	東海	59.0	九州・沖縄	14.0	4	東海	68.3	九州・沖縄	14.7
5	東北	56.5	東海	14.0	5	関東	54.7	北海道	13.5	5	関東	60.9	近畿	13.6
6	四国	51.6	九州・沖縄	12.8	6	北海道	52.7	東北	13.2	6	近畿	59.8	関東	12.3
7	関東	48.6	近畿	11.2	7	東北	52.6	関東	11.6	7	北海道	57.7	東北	12.1
8	近畿	45.7	関東	5.1	8	四国	50.0	近畿	9.2	8	四国	54.8	四国	9.7
9	北海道	44.4	北海道	2.5	9	近畿	49.6	四国	9.1	9	東北	54.5	北海道	9.6

【津波】

11年					10年					09年				
順位	不安計(268人)	%	とても不安(70人)	%	順位	不安計(145人)	%	とても不安(33人)	%	順位	不安計(157人)	%	とても不安(41人)	%
1	四国	38.7	四国	19.4	1	四国	22.7	北海道	4.1	1	四国	25.8	四国	9.7
2	九州・沖縄	33.7	東北	12.9	2	九州・沖縄	20.4	近畿	3.4	2	東北	21.2	東北	6.1
3	中国	33.3	九州・沖縄	11.6	3	東北	15.8	九州・沖縄	3.2	3	九州・沖縄	14.7	近畿	5.1
4	東海	32.2	東海	11.2	4	東海	14.1	東海	3.2	4	中国	14.5	中国	3.6
5	甲信越・北陸	30.6	甲信越・北陸	10.2	5	中国	13.6	関東	3.0	5	近畿	14.0	関東	3.3
6	東北	29.0	近畿	5.6	6	北海道	12.2	東北	2.6	6	関東	13.1	東海	3.3
7	北海道	25.9	北海道	4.9	7	関東	11.3	中国	1.7	7	甲信越・北陸	11.6	北海道	1.9
8	関東	18.9	関東	2.3	8	近畿	10.1	四国	-	8	東海	10.8	九州・沖縄	-
9	近畿	17.2	中国	-	9	甲信越・北陸	9.1	甲信越・北陸	-	9	北海道	9.6	甲信越・北陸	-

【火山による噴火】

11年					10年					09年				
順位	不安計(268人)	%	とても不安(70人)	%	順位	不安計(145人)	%	とても不安(33人)	%	順位	不安計(157人)	%	とても不安(41人)	%
1	北海道	19.8	九州・沖縄	4.7	1	甲信越・北陸	25.0	甲信越・北陸	4.5	1	甲信越・北陸	23.3	東海	5.0
2	九州・沖縄	18.6	北海道	3.7	2	北海道	14.9	北海道	4.1	2	関東	15.5	甲信越・北陸	4.7
3	東北	16.1	関東	2.0	3	関東	12.1	東海	3.2	3	東北	10.6	北海道	3.8
4	甲信越・北陸	14.3	近畿	1.7	4	東海	10.3	関東	2.2	4	北海道	9.6	関東	2.2
5	関東	14.0	東北	1.6	5	九州・沖縄	6.5	九州・沖縄	2.2	5	東海	7.5	中国	1.8
6	東海	11.9	東海	1.4	6	中国	5.1	中国	1.7	6	九州・沖縄	5.9	東北	1.5
7	中国	4.8	甲信越・北陸	-	7	近畿	4.2	東北	1.3	7	中国	3.6	九州・沖縄	1.5
8	近畿	3.4	中国	-	8	東北	3.9	近畿	0.8	8	四国	3.2	近畿	0.5
9	四国	-	四国	-	9	四国	-	四国	-	9	近畿	1.4	四国	-

1. 自然災害に対する意識

(4) 近い将来、大地震発生の可能性は？

「将来、大地震が発生する」と予想する人は、ほぼ全員 92.6%
「東北」は2人に1人が「5年以内」、3人に1人が「1年以内」と予想！

- ・ そこで、近い将来の大地震が発生する可能性について聞いてみました。
- ・ なんと、ほぼ全員（92.6%）が「将来、大地震が発生する」と考えています。
- ・ 特に「5年以内に発生すると思う」（24.8%）が昨年から8.2ポイント増加しており、4人に1人が喫緊の不安として感じているようです。
- ・ 居住地域別でみると、東海地震の発生が予測される「東海」（97.9%）が最も高く、「四国」「関東」「近畿」「東北」「甲信越・北陸」を加えた6地域では、9割以上の人将来の大地震発生を予想しています。
- ・ そして「5年以内に発生すると思う」は、「東北」（46.8%）、「関東」（36.6%）、「東海」（33.6%）が高く、「1年以内に発生」を「東北」の3人に1人が回答しています。

Q. 近い将来に大地震が発生すると思いますか（単一回答）

	回答者数	発生する と思う計 (1年以内 ～いずれ は発生)	5年以内 に発生す ると思う 計	1年以内 に発生す ると思う	3年以内 に発生す ると思う	5年以内 に発生す ると思う	近い将来 ではない が、いず れは発生 すると思 う	自分の地 域では発 生しない と思う
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
2011年 全体	1097人	92.6	24.8	7.4	10.6	6.8	67.8	7.4
2010年 全体	1133人	91.6	16.6	1.1	6.4	9.1	75.0	8.4
【居住地別】 (2011 年)	北海道	81人	77.8	8.6	4.9	3.7	69.1	22.2
	東北	62人	91.9	46.8	32.3	9.7	45.2	8.1
	関東	350人	96.3	36.6	11.1	15.7	59.7	3.7
	甲信越・北陸	49人	91.8	24.5	4.1	14.3	67.3	8.2
	東海	143人	97.9	33.6	5.6	16.8	64.3	2.1
	近畿	232人	95.3	12.1	2.6	4.7	83.2	4.7
	中国	63人	82.5	7.9	-	6.3	74.6	17.5
	四国	31人	96.8	16.1	3.2	3.2	80.6	3.2
	九州・沖縄	86人	82.6	11.6	1.2	5.8	70.9	17.4

1. 自然災害に対する意識

(5) あなたの住まいは大丈夫？

家屋倒壊の不安は「築5年」が境界線？

すでに「築5～10年未満」で55.5%が“不安”！

- ・ 震災時の被害やその後の生活を考えた場合、家屋の安全性はとても気になるところです。そこで、大地震発生時の家屋の倒壊に対する不安について聞いてみました。
- ・ 結果は、半数以上の54.8%の人が自分の居住する家屋の倒壊について「不安である」と回答しています。
- ・ 築年数別でみると、築年数に比例し、家屋倒壊への不安は高まっています。「築5～10年未満」(55.5%)から半数を超えはじめ、1981年建築基準法の改正以前に建てられた「築30年以上」に居住する人の7割が不安と回答しています。

Q. 自分の住まいは大地震のとき、安全だと思いますか

		回答者数	安全だと思う (%)	不安である (%)	わからない (%)
2011年 全体		1097人	16.0	54.8	29.3
【築年数別】	0～2年未満	34人	35.3	29.4	35.3
	2～5年未満	97人	22.7	36.1	41.2
	5～10年未満	146人	19.2	55.5	25.3
	10～20年未満	386人	17.6	52.6	29.8
	20～30年未満	241人	13.3	57.3	29.5
	30年以上	193人	6.7	69.4	23.8

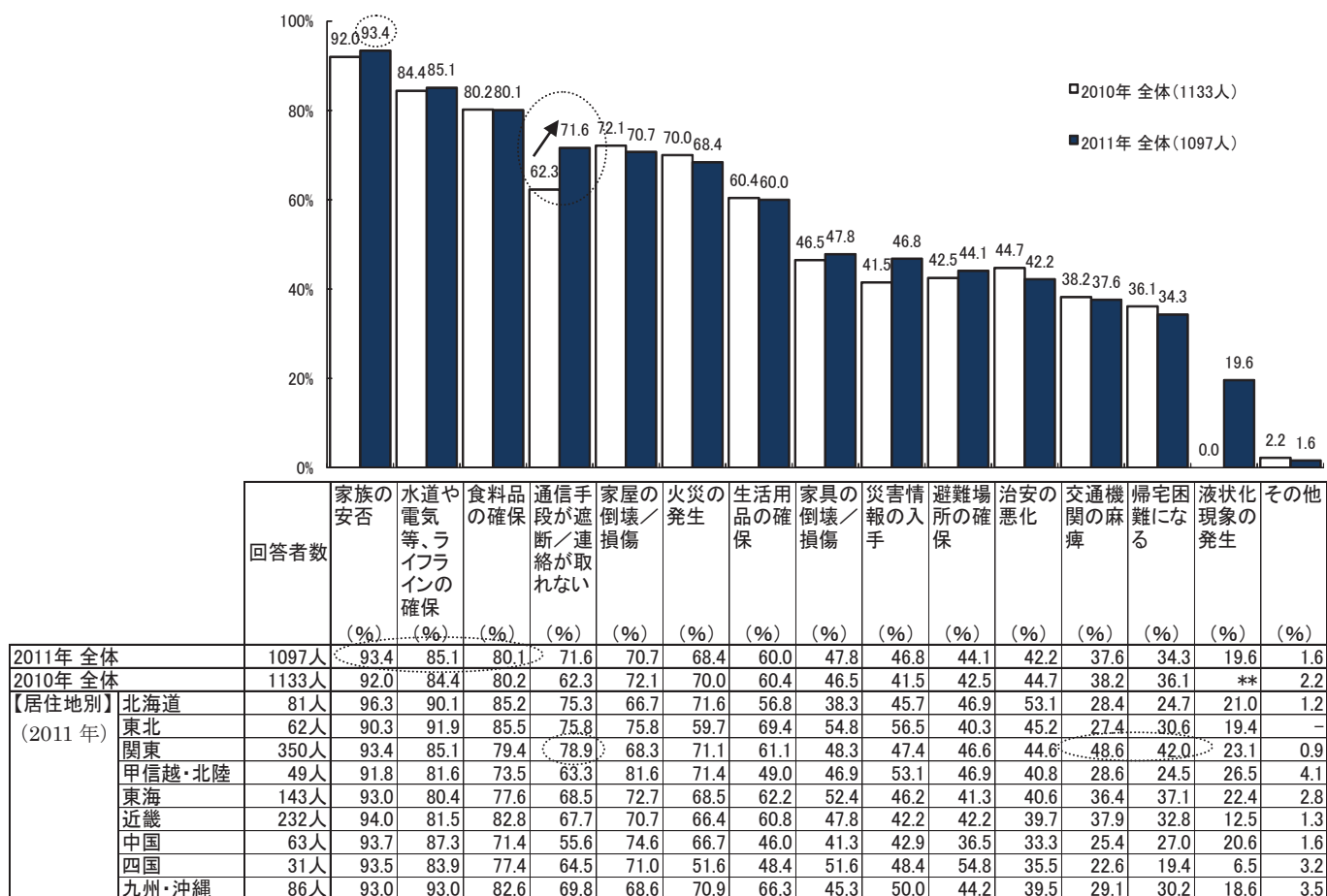
2. 震災への備え

(1) 地震発生時に心配なことは？

高まる“家族の絆”、「家族の安否」が最も心配！
電話不通等で「連絡が取れない」が第4位へ

- ・ もし大地震が発生したら、みなさんは何を一番心配しますか？
- ・ 今年も「家族の安否」（93.4％）がトップとなり、大切な家族への思いはいつそう高まっています。続いて、生活に欠かせない「水道や電気等、ライフラインの確保」（85.1％）、「食料品の確保」（80.1％）が8割を超えています。
- ・ 第4位の「通信手段が遮断/連絡が取れない」（71.6％）は、昨年第6位から上昇しました。震災直後の携帯電話やメールの不通で家族や友人等の安否確認ができず、不安が募った今回の震災経験が大きく影響したものと思われます。
- ・ 居住地域別でみると、震災当日公共交通機関が麻痺した「関東」は、「通信手段が遮断／連絡が取れない」「交通機関の麻痺」「帰宅困難になる」など通信・交通網への心配が他の地域に比べて高いことがわかりました。

Q. 震災時に心配なことは何ですか。（複数回答）



2. 震災への備え

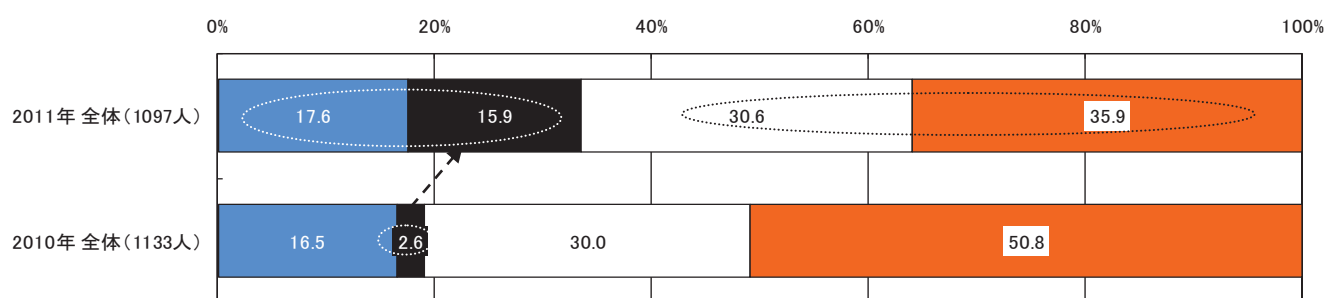
(2) 家族との連絡手段や集合場所は決めていますか？

家族との連絡手段や集合場所の確認が急務！
「震災を機に決めた」は1割強、依然3人に2人が未定！

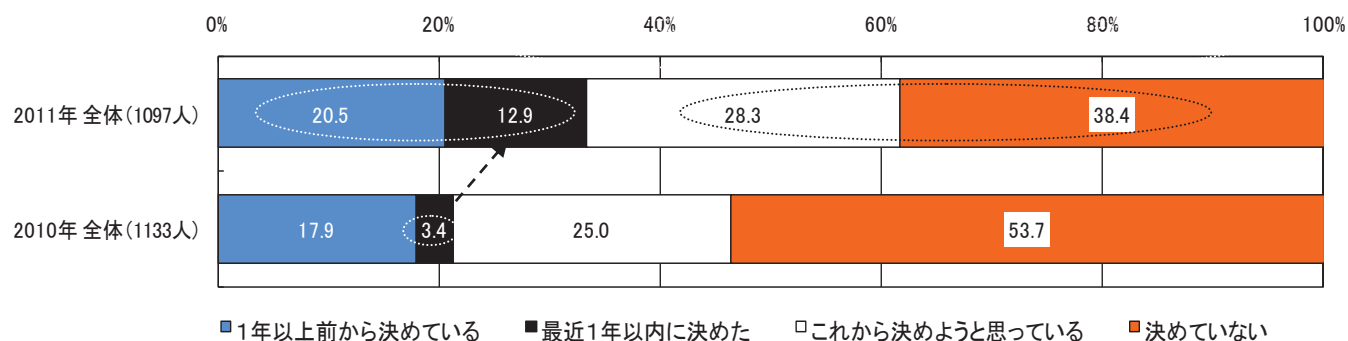
- ・ 震災時は「家族の安否」を最も心配し、多くの方が家族との“絆”を強く意識しています。そこで、大切な家族との「連絡手段」「集合場所」の確認の有無を聞いてみました。
- ・ 震災に備え、3人に1人が「連絡手段」（33.5％）や「集合場所」（33.4％）を決定。12ページのとおり、「連絡手段」は13.7％、「集合場所」は11.6％の人が震災を機に決めたことから、「最近1年以内に決めた」が両方とも増加しています。特に「連絡手段」（15.9％）については約12ポイントも増加しています。
- ・ しかし、依然3人に2人は「連絡手段」や「集合場所」を決めておらず（「これから決めようと思っている」＋「決めていない」）、家族との確認はさほど進んでいないようです。
- ・ 居住地域別では、震災対策が進んでいると言われる「東海」が、「連絡手段」（42.7％）や「集合場所」（48.3％）がともに最も高く、二冠を達成。また、第2位の「関東」は、「震災を機に決めた」がそれぞれ最も高く、東日本大震災の影響の大きさがうかがえます。

Q. 震災時、家族との連絡手段と集合場所を決めていますか

<家族との連絡手段>



<家族との集合場所>



Q. 震災時、家族との連絡手段と集合場所を決めていますか（居住地域別）

<家族との連絡手段>

		回答者数	決めている 計	1年以上 前から決 めている			最近1年 以内に決 めた		これから 決めようと 思っている	決めてい ない
							震災以前 に決めた	震災を機 に決めた		
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
2011年 全体		1097人	33.5	17.6	15.9	2.2	13.7	30.6	35.9	
2010年 全体		1133人	19.2	16.5	2.6	—	—	30.0	50.8	
【居住地別】 (2011 年)	北海道	81人	27.2	17.3	9.9	—	9.9	23.5	49.4	
	東北	62人	37.1	21.0	16.1	1.6	14.5	19.4	43.5	
	関東	350人	41.7	16.0	25.7	2.6	23.1	30.9	27.4	
	甲信越・北陸	49人	26.5	14.3	12.2	—	12.2	38.8	34.7	
	東海	143人	42.7	25.9	16.8	5.6	11.2	32.2	25.2	
	近畿	232人	24.1	15.5	8.6	1.3	7.3	33.2	42.7	
	中国	63人	27.0	20.6	6.3	1.6	4.8	36.5	36.5	
	四国	31人	29.0	12.9	16.1	3.2	12.9	32.3	38.7	
	九州・沖縄	86人	23.3	15.1	8.1	1.2	7.0	25.6	51.2	

<家族との集合場所>

		回答者数	決めている計	1年以上前から決めている	最近1年以内に決めた	震災以前に決めた	震災を機に決めた	これから決めようと思っている	決めていない
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)		
2011年 全体		1097人	33.4	20.5	12.9	1.3	11.6	28.3	38.4
2010年 全体		1133人	21.4	17.9	3.4	－	－	25.0	53.7
【居住地別】 (2011 年)	北海道	81人	25.9	17.3	8.6	1.2	7.4	21.0	53.1
	東北	62人	25.8	14.5	11.3	1.6	9.7	24.2	50.0
	関東	350人	40.6	22.9	17.7	1.4	16.3	31.1	28.3
	甲信越・北陸	49人	24.5	16.3	8.2	－	8.2	34.7	40.8
	東海	143人	48.3	32.2	16.1	2.1	14.0	26.6	25.2
	近畿	232人	27.2	16.4	10.8	1.7	9.1	26.7	46.1
	中国	63人	25.4	20.6	4.8	－	4.8	31.7	42.9
	四国	31人	35.5	19.4	16.1	－	16.1	25.8	38.7
九州・沖縄		86人	18.6	12.8	5.8	－	5.8	27.9	53.5

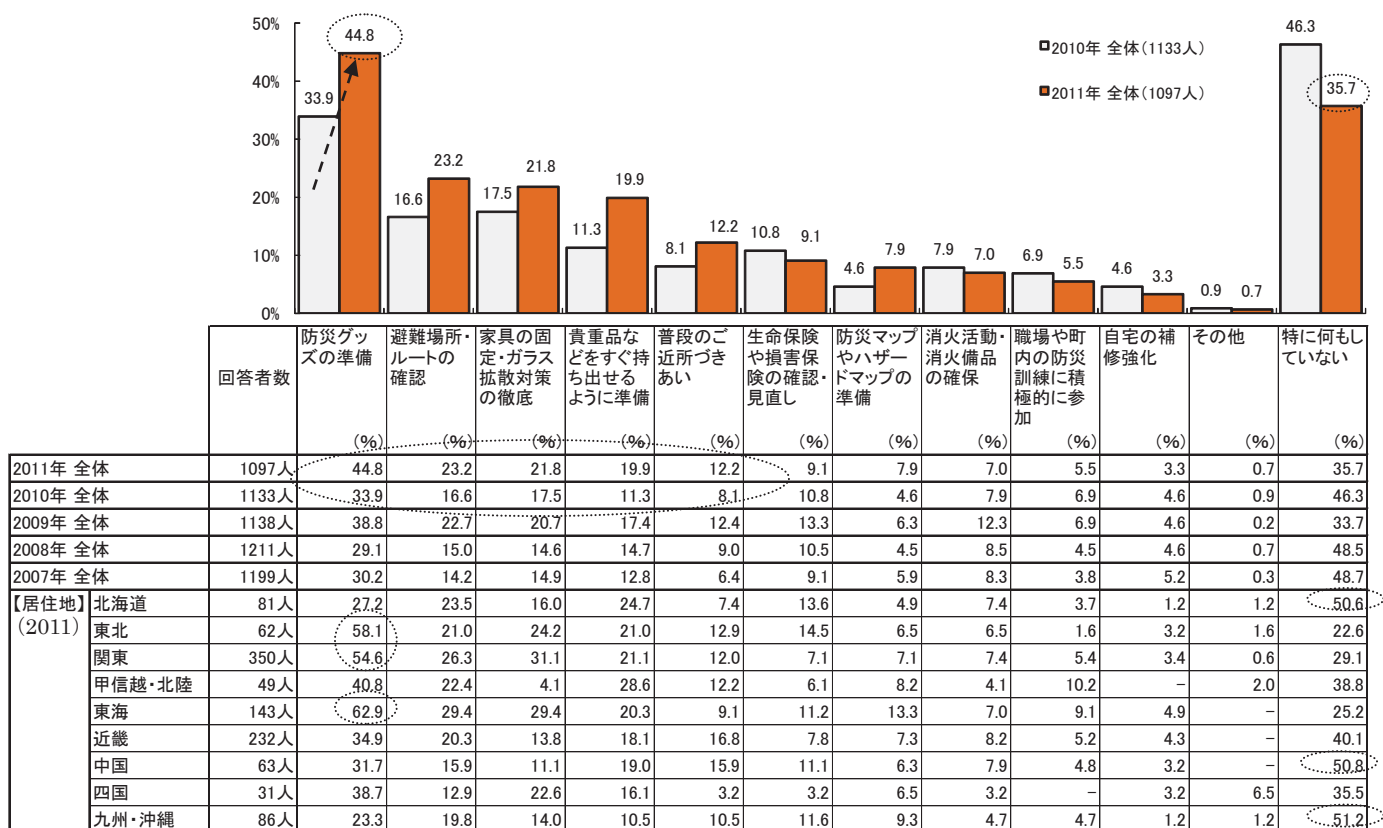
2. 震災への備え

(3) 具体的な震災対策は？

第1位「防災グッズの準備」は、10ポイント以上増加し44.8%
3人に1人が「特に何もしていない」、地域間格差が顕著！

- ・ 9割以上の方が不安に感じる「地震」。そこで、震災対策の取組みについて聞いてみました。
- ・ 今年は、「防災グッズの準備」(44.8%)が昨年から10.9ポイント増加し、第1位。
- ・ また、「避難場所・ルートの確認」や「家具の固定・ガラス拡散対策の徹底」「貴重品などをすぐ持ち出せるように準備」「普段のご近所づきあい」も増加しており、今回の震災を機に、震災対策は前進したことがうかがえます。
- ・ しかし、「特に何もしていない」(35.7%)が3人に1人で、第2位となっています。
- ・ 居住地域別でみると、「防災グッズの準備」は、トップは「東海」(62.9%)、「東北」(58.1%)、「関東」(54.6%)が続き、過半数が準備していることがわかります。
- ・ その一方、「特に何もしていない」が多い地域は、「九州」(51.2%)、「中国」(50.8%)、「北海道」(50.6%)が過半数と、震災対策の取組みに大きな地域間格差が見られます。

Q. 震災対策として、何をしていますか。(複数回答)



2. 震災への備え

(4) 帰宅ルートの認知度（全体・男女別）

帰宅ルート「知っている」は85.1%

「東京」「千葉」「神奈川」で震災を機に確認が加速！

- ・ 東日本大震災発生当日、公共交通機関が麻痺した首都圏では、多くの人が徒歩で帰宅するか、職場や近隣施設で一夜を明かしました。公共交通機関がストップした場合、自宅まで徒歩で帰ることができますか？そこで、帰宅ルートの認知度について聞いてみました。
- ・ 通勤・通学者のうち、公共交通機関が麻痺した場合の帰宅ルートを知っている（「詳しく」＋「だいたい」）は85.1%と、8割以上の方が帰宅ルートを認知されているようです。
- ・ 特に「詳しく知っている」（46.4%）は、昨年に比べ12.8ポイント増加しています。今回の震災を教訓に、帰宅ルートの確認については前進したものと思われます。
- ・ 主な都道府県別では、「震災を機に知った」が「東京」（18.6%）、「千葉」（15.2%）、「神奈川」（12.5%）と首都圏の一部において高い傾向が見られます。

Q. 大地震が発生して公共交通機関が麻痺した場合の帰宅ルートを知っていますか

		回答者数	帰宅ルートを知っている計					帰宅ルートを知らない計		
			(%)	震災前に知った	震災を機に知った	詳しく知っている	だいたい知っている	(%)	あまり知らない	全く知らない
				(%)	(%)	(%)	(%)		(%)	(%)
2011年 通勤・通学者計		825人	85.1	76.6	8.5	46.4	38.7	14.9	10.3	4.6
2010年 通勤・通学者計		937人	77.6	**	**	33.6	44.0	22.4	15.4	7.0
【主な都府県別】 (2011 年)	東京	118人	87.3	68.6	18.6	46.6	40.7	12.7	8.5	4.2
	神奈川	56人	80.4	67.9	12.5	35.7	44.6	19.7	16.1	3.6
	埼玉	46人	78.3	73.9	4.3	28.3	50.0	21.7	13.0	8.7
	千葉	33人	81.8	66.7	15.2	48.5	33.3	18.2	18.2	－
	愛知	50人	80.0	70.0	10.0	34.0	46.0	20.0	14.0	6.0
	大阪	49人	85.7	85.7	－	51.0	34.7	14.3	8.2	6.1
	京都	47人	78.7	76.6	2.1	38.3	40.4	21.2	10.6	10.6
	兵庫	31人	80.6	80.6	－	32.3	48.4	19.3	16.1	3.2
	福岡	34人	79.4	79.4	－	50.0	29.4	20.6	11.8	8.8

2. 震災への備え

(5) 徒歩での帰宅経験

帰宅ルートを知っている人のうち、「徒歩で確認したことがある」は33.5%

- ・ 14ページのとおり、多くの方が大地震発生時の帰宅ルートを知っていることがわかりました。
- ・ そこで、帰宅ルートを知っていると回答した通勤・通学者の人に、実際に徒歩で帰宅したことがあるかについて聞いてみました。
- ・ 実際に「徒歩で確認したことがある」（「震災以前から」＋「震災を機に」）と回答した人は、33.5%でした。
- ・ 主な都府県別でみると、「東京」（52.4%）と徒歩で帰宅したことがあるが過半数。また「震災を機に」が、「東京」（19.4%）、「神奈川」（15.6%）、「千葉」（11.1%）において高い傾向がみられます。今回の震災で徒歩で帰宅された人が多かったのではないのでしょうか。

Q. もし大地震が発生し交通機関が麻痺した場合、帰宅ルートを知っていますか

		回答者数	徒歩で確認したことがある計			まだ徒歩で確認したことがない計			
				震災以前から	震災を機に		これから歩く 予定	自宅まで距離 が長いため等	帰宅経路を よく知っている ため
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
帰宅ルート認知の通勤通学者		702人	33.5	27.9	5.6	66.6	2.0	39.2	25.4
【主な都府県別】	東京	103人	52.4	33.0	19.4	47.6	－	26.2	21.4
	神奈川	45人	35.6	20.0	15.6	64.4	－	44.4	20.0
	埼玉	36人	25.0	22.2	2.8	75.1	5.6	38.9	30.6
	千葉	27人	48.1	37.0	11.1	51.8	－	40.7	11.1
	愛知	40人	27.5	27.5	－	72.5	2.5	52.5	17.5
	大阪	42人	31.0	28.6	2.4	69.1	2.4	40.5	26.2
	京都	37人	43.2	40.5	2.7	56.7	－	35.1	21.6
	兵庫	25人	40.0	40.0	－	60.0	－	28.0	32.0
福岡	27人	18.5	18.5	－	81.5	7.4	59.3	14.8	
【自宅までの通勤・通学距離別】	1～10km未満	323人	56.6	52.3	4.3	43.3	4.0	12.7	26.6
	10～20km未満	174人	16.1	7.5	8.6	83.9	－	51.7	32.2
	20～30km未満	78人	12.8	7.7	5.1	87.2	－	62.8	24.4
	30～40km未満	60人	16.6	8.3	8.3	83.4	1.7	65.0	16.7
	40～50km未満	26人	3.8	3.8	－	96.2	－	80.8	15.4
	50km以上	41人	7.3	4.9	2.4	92.7	－	85.4	7.3

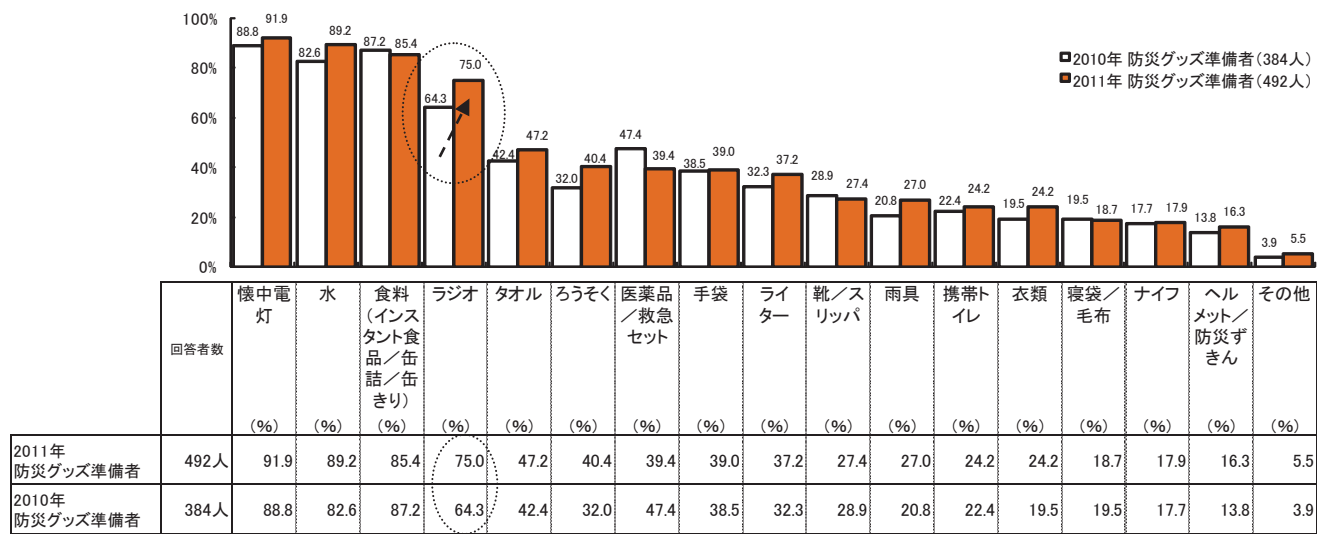
2. 震災への備え

(6) 防災グッズの中身と費用

防災グッズの平均費用は「9,606円」昨年から2,300円増加

- ・ 13 ページで、震災対策として防災グッズを準備していると回答した人に、防災グッズの中身と費用について聞いてみました。
- ・ 防災グッズの中身のトップは「懐中電灯」、続いて「水」「食料」でした。第4位の「ラジオ」が今年最も増加しました（昨年度差10.7ポイント増）。停電時でもタイムリーに情報を入手できる情報源として活躍したことが影響しているのかもしれません。
- ・ 平均費用は「9,606円」と昨年から2,300円増加。調査開始以降、減少基調でしたが、新潟県中越沖地震が発生した2007年度とほぼ同水準になりました。

Q. 防災グッズの中身は何ですか（複数回答）



※震災対策として防災グッズを用意していると回答した人ベース

Q. 防災グッズにかかる費用はいくらですか

	回答者数	0円	～1,000円未満	1,000～5,000円未満	5,000～10,000万円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上	平均 (0を含む)
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(円)
2011年 防災グッズ準備者	492人	1.6	2.2	29.5	26.0	34.1	6.5	9,606.1
2010年 防災グッズ準備者	384人	2.9	1.8	35.4	31.5	25.0	3.4	7,306.5
2009年 防災グッズ準備者	441人	1.1	2.0	31.5	27.0	32.0	6.3	9,244.0
2008年 防災グッズ準備者	362人	0.8	2.2	27.3	30.9	32.0	6.6	9,367.8
2007年 防災グッズ準備者	352人	2.3	0.6	23.9	29.5	36.9	6.8	9,963.0

2. 震災への備え

(7) 被災地への募金金額

約85%の人が募金に協力！被災地への募金平均金額は「8,800円」

- ・ 次に、東日本大震災の被災地への募金金額について聞いてみました。
- ・ 平均金額は「8,800円」。「募金していない」と回答した人は15.2%で、約85%の人が募金に協力していることがわかりました。
- ・ このような他人への思いやりや助け合いの心は、被災地の一日も早い復興支援には不可欠であり、今後も何らかの形で応援していくことが大切です。

Q. 被災地への募金はいくらですか

		回答者数	募金していない (%)	1～1,000円未満 (%)	1,000～3,000円未満 (%)	3,000～5,000円未満 (%)	5,000～10,000円未満 (%)	10,000～30,000円未満 (%)	30,000～50,000円未満 (%)	50,000～100,000円未満 (%)	100,000円以上 (%)	平均 (0を含む) (円)
2011年 全体		1097人	15.2	7.6	25.7	8.6	15.3	21.3	2.4	2.3	1.6	8800.5
【性別】	男性計	549人	16.2	6.0	25.1	7.8	16.0	21.1	2.4	3.3	2.0	9716.1
	女性計	548人	14.2	9.1	26.3	9.3	14.6	21.5	2.4	1.3	1.3	7883.1
【職業別】	会社員	462人	14.9	7.8	26.4	7.6	15.8	21.2	1.7	2.8	1.7	8803.9
	会社役員・経営者	30人	13.3	3.3	6.7	3.3	10.0	40.0	3.3	10.0	10.0	33536.7
	公務員	72人	12.5	5.6	25.0	9.7	18.1	18.1	4.2	4.2	2.8	9905.6
	自営業・自由業	62人	17.7	6.5	14.5	9.7	14.5	27.4	8.1	1.6	-	8567.7
	パート・アルバイト	169人	18.3	7.7	27.2	6.5	14.8	21.3	1.8	1.2	1.2	8747.3
	学生	72人	19.4	12.5	33.3	8.3	13.9	12.5	-	-	-	3023.6
	専業主婦	196人	12.8	6.6	27.0	12.2	15.8	21.9	1.5	1.0	1.0	6529.8
	その他	34人	11.8	8.8	23.5	11.8	11.8	17.6	8.8	2.9	2.9	10598.7

3. 震災時の行動

(1) 大地震時の優先行動と震災前後での生活行動の変化

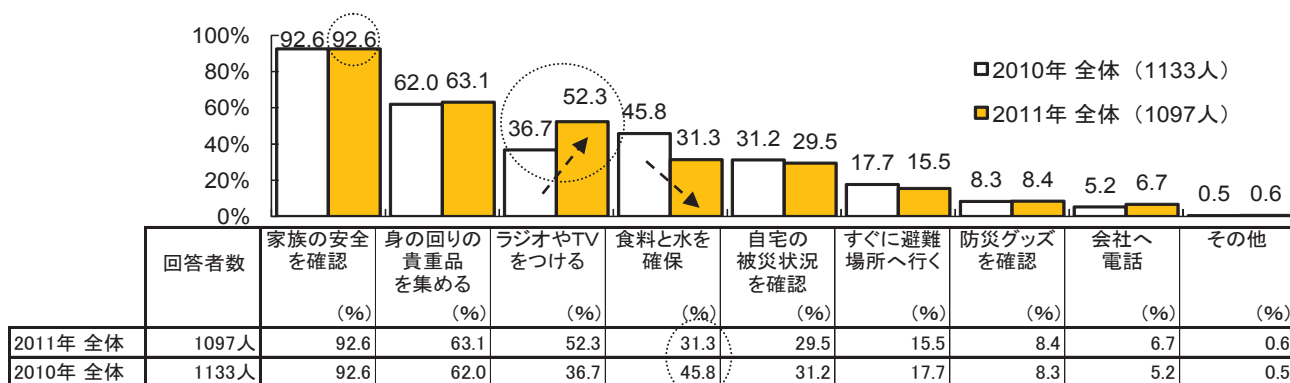
あらためて“情報の大切さ”を実感！

震災発生時の優先行動は「ラジオやTVをつける」が大幅増

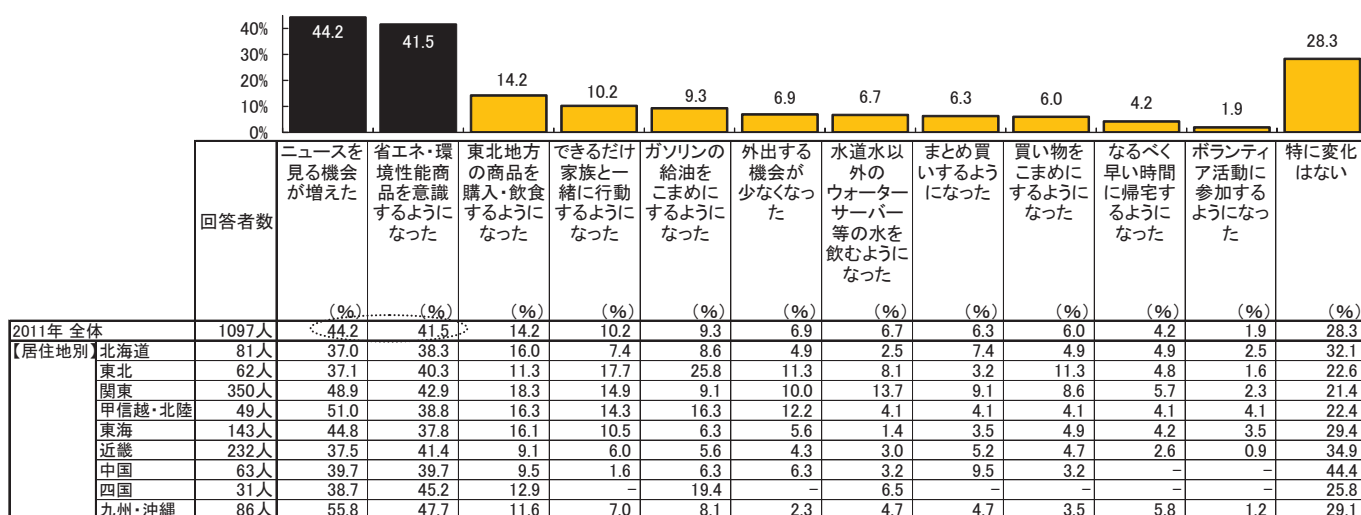
震災前後で変化した生活行動は「ニュースを見る機会が増えた」が第1位

- ・ 突然発生する大地震では冷静な行動が不可欠です。そこで、大地震発生時に優先する行動を聞いてみました。また、東日本大震災発生前後の生活行動の変化について聞いてみました。
- ・ 大地震発生時の優先行動のトップは、やはり「家族の安全を確認」（92.6%）。今年は、「ラジオやTVをつける」（52.3%）が昨年から15.6ポイント増加して第3位となり、「食料と水を確保」（31.3%）よりも、重要視していることがわかりました。
- ・ 次に、震災前後の生活行動の変化は、「ニュースを見る機会が増えた」（44.2%）が最多。続いて「省エネ・環境性能商品を意識するようになった」（41.5%）。震災直後、情報が入らない不安を経験し、あらためて“情報の大切さ”を再認識したのではないのでしょうか。

Q. 自宅で大地震が起きた後、優先する行動は何ですか（上位3つ回答）



Q. 東日本大震災前後で、変化した生活行動は何ですか（上位3つ回答）



3. 震災時の行動

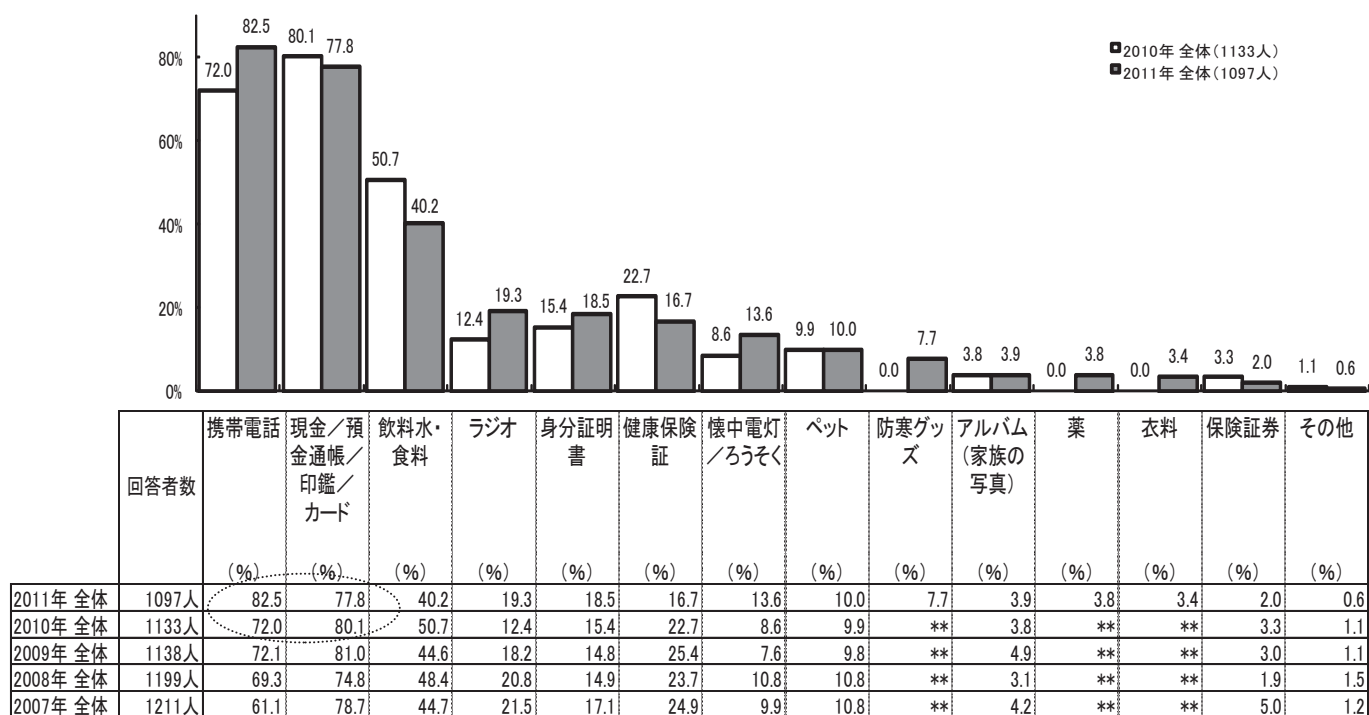
(2) 震災時に持って逃げたいもの

お金よりも「携帯電話」？

調査開始以来初のトップに！「携帯電話」が最多の82.5%

- ・ 地震が発生したとき、大切なものを運び出そうというのは自然な行動です。そこで、地震発生時に「持って逃げたいもの」について聞いてみました。
- ・ 調査開始以来、連続トップだった「現金」(77.8%)を抜いて、「携帯電話」(82.5%)が昨年から10.5ポイント増加し、初めてトップとなりました。
- ・ 震災を通じて「携帯電話」は、家族との“安否確認の手段”として、ワンセグやニュースサイト、緊急地震速報等の“貴重な情報源”として威力を発揮し、多くの方から高く評価されたものと思われます。

Q. 震災発生時に持って逃げたいものは何ですか（複数回答）



※2010年から「飲料水」「食料」と別々に選択、2009年までは「飲料水・食料」で選択

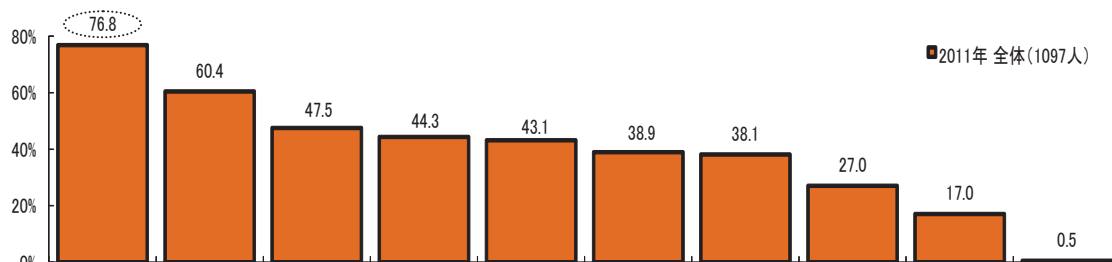
3. 震災時の情報収集

(3) 震災時の情報源は？

震災時の情報源は「ラジオ」がトップ！20代の3人に1人はツイッター等の「SNS」！

- ・ 震災時に情報を得る方法を聞いてみました。
- ・ 情報源の第1位は「ラジオ」（76.8%）。今回の震災でも、停電時に電池式ラジオや車・携帯電話等のラジオから、正確かつタイムリーな情報を入手した方が多かったのではないのでしょうか。
- ・ 性別・年齢別でみると、男女とも20代は「携帯電話のニュースサイト」「ツイッター・フェイスブック等のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」といった“携帯電話”を情報源として利用する人が多いことがわかりました。
- ・ 職業別でみると、専業主婦は「家族・知人・ご近所からの情報」（57.7%）、「避難所や役所・役場情報」（50.5%）が高く、身近なところからの情報を利用しているようです。

Q. 震災時に情報源としようとしているものは何ですか（複数回答）



	回答者数	ラジオ (%)	携帯電話の ニュースサイト (%)	テレビ (%)	家族・知人・ご 近所からの情 報 (%)	避難所や役 所・役場情報 (%)	携帯電話等の ワンセグ (%)	パソコンの ニュースサイト (%)	新聞 (%)	ツイッター・フェ イスブック等の SNS (%)	その他 (%)
2011年 全体	1097人	76.8	60.4	47.5	44.3	43.1	38.9	38.1	27.0	17.0	0.5
【性×年代別】											
男性計	549人	75.4	60.7	49.0	38.3	39.5	41.3	40.8	25.0	17.9	0.5
男性20代	139人	67.6	68.3	46.0	41.7	34.5	43.9	36.0	20.9	31.7	-
男性30代	132人	70.5	56.8	46.2	37.1	37.9	37.1	39.4	15.9	20.5	-
男性40代	130人	80.0	60.0	51.5	40.0	45.4	42.3	40.8	26.9	10.0	1.5
男性50代	148人	83.1	57.4	52.0	34.5	40.5	41.9	46.6	35.1	9.5	0.7
女性計	548人	78.3	60.2	46.0	50.4	46.7	36.5	35.4	29.0	16.2	0.4
女性20代	133人	72.2	72.2	36.1	57.1	48.9	31.6	28.6	23.3	30.8	-
女性30代	133人	72.2	60.2	44.4	57.1	48.9	45.9	35.3	29.3	14.3	0.8
女性40代	138人	84.8	50.0	50.7	38.4	43.5	31.2	32.6	31.2	8.7	-
女性50代	144人	83.3	59.0	52.1	49.3	45.8	37.5	44.4	31.9	11.8	0.7
【職業別】											
会社員	462人	72.9	63.9	45.0	38.5	40.5	41.3	35.9	24.0	16.2	0.4
会社役員・経営者	30人	76.7	63.3	46.7	36.7	46.7	40.0	56.7	23.3	20.0	-
公務員	72人	76.4	59.7	47.2	37.5	51.4	36.1	34.7	30.6	13.9	-
自営業・自由業	62人	87.1	46.8	51.6	41.9	38.7	46.8	32.3	24.2	11.3	1.6
パート・アルバイト	169人	81.7	57.4	47.3	53.3	46.2	39.6	40.2	34.3	13.0	0.6
学生	72人	70.8	70.8	41.7	37.5	30.6	40.3	43.1	22.2	43.1	-
専業主婦	196人	80.6	57.7	53.1	57.7	50.5	31.6	38.3	27.6	15.3	-
その他	34人	79.4	47.1	55.9	41.2	35.3	32.4	47.1	38.2	17.6	2.9